

第31回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和3年5月19日（水）19：30～21：00

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会会長（WEB参加）
伊藤 光男	埼玉県中小企業団体中央会会長（WEB参加）
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長（WEB参加）
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授（WEB参加）
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長（WEB参加）
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）
讚井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長（WEB参加）
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB参加）
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
真砂 和敏	県民生活部長（WEB参加）
安藤 宏	危機管理防災部長（WEB参加）
山崎 達也	福祉部長（WEB参加）
関本 建二	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長（WEB参加）
岸本 剛	衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 現状の分析・評価について

- 連休に入る前にまん延防止等重点措置を開始したことで、良い効果が出てきているのではないかと。ただし、直近の実行再生産数は高い数値を示しているため緩められる状況ではない。（川名委員）
- 緩まないように県民に対する伝え方を工夫する必要があるが、少なくとも今以上の措置を講じる必要はないのではないかと。（岡部委員）
- 患者を把握できているかどうか重要であり、埼玉県は非常に患者の把握をスムーズにできているので、引き続きこういった状況をキープしていただきたい。（竹田委員）
- 感染者の急増はないが、ワクチンが早いと感染者数の増加が早いという我慢比べのような状況である。この状況を県民に理解していただき、我慢比べにつき合っていただくことを続けられたら良い。（坂木委員）

イ 新たな措置等の強化パッケージについて

- 業界での具体的な感染事例について、県から公表することはその業界に対する差別や風評被害につながる恐れがあるが、各業界団体を通じて各業界へアナウンスすることは問題ないとする。（池田委員、伊藤委員、近藤委員）

ウ 新型コロナウイルスワクチンについて

- ワクチン接種後も、基本的な感染防止対策を継続する必要がある。（岡部委員）
- 集団接種において、接種担当者の数だけ確保すればいいわけではない。問題が起きた際に対応できるような、経験のある打ち手を確保する必要がある。（岡部委員）
- 高齢者接種において、埼玉県の場合は、個別接種を積極的に行っていくことで、早期の完了を達成できる。（金井委員）
- 接種の経験が浅い医療機関は、既に接種を始めている医療機関にノウハウ

を教わるとよいのではないか。（光武委員）

エ 特措法第24条第9項に基づく高齢者施設等に対するPCR検査受検の要請について

- 高齢者施設等に対し、PCR検査受検の要請をすることについて、同意する。（委員一同）

【県の対応】

- 県内の感染状況、委員の意見を踏まえ、高齢者施設等に対し、県又は保健所設置市が策定した集中的検査実施計画に基づき、検査を受検することを要請することについて決定した。（5月20日開催第52回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。）